



TITLE:

香港より

AUTHOR(S):

山本, 一清

CITATION:

山本, 一清. 香港より. 天界 1929, 9(98): 309-309

ISSUE DATE:

1929-04-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161406>

RIGHT:

會員の訃 本會大連支部幹事として多年本會のために盡力された石川龜治氏は去る三月十七日遂に永眠された。誠に哀悼の情に堪へない。因に同氏三十餘年の長い間、小學教育につくされた人で昨年の御大典には教育功勞者として表彰された一人であつた。行年五十六

事務室より 荒木助教授に次いで、上田助教授もアメリカへ赴かれ、日食觀測隊も出發し、それに學年末で學生は少く、教室は至つて靜です。山本先生の御不在中は二階の先生の室へ移つて仕事をして居ります。出来るだけ間違の無い様に、又出来るだけ合計を豊にする様に心掛けて居ります。

香 港 よ り

皆様の御見送りを受けて、去る二十四日朝京都を出で、各驛に停るのん氣な汽車で三の宮へ十一時前に着。デランティア觀測者として宮澤堂君が芦屋から同車しましたから、之れで一行は六名となりました。

神戸ではオリエンタル・ホテルで少憩。こごんの旅行のため始めから大變に御世話になつた大阪の奥村幸二郎氏を加へて、皆が午餐を認めた後、午後一時のランチでメリケン波止場から「たこま丸」に乗り込みました。船まで見送つて下さつた方方は、神戸支部の改發氏御一家を始め、合計四十人ばかり、教室の新理學士山村森川兩君や、大阪の奥村上村兩氏、中村君の御尊父や御兄妹、芦屋の安東御夫妻など。御かけて船のサルーンは暫く大賑はひでした。

船は正二時に錨を拔きましたが、空は曇り乃至小雨で、内海の景色も好くは見えませんでした。——此の曇り空は實は今日（香港へ着く日）まで續いてます。只、昨日だけは一寸空の一部が晴れて、太陽が見え、又、夜には星も見えました。昨夜見える筈の「南十字架星座」は駄目でしたが、只カノプス星が高く、北極星が低いのを見ました。

門司へ船が着いた二十五日の夜は下關で惠藤、廣津其の他の會員たちに迎えられ、講演會後は六人が河村氏宅と廣津氏宅に泊りました。

今朝早く香港に着きました。明朝出帆します。

四月一日

「たこま丸」にて 山 本 一 清